

令和 8 年 4 月開学予定 武雄アジア大学（仮称）

市 民 座 談 会

『大学のあるまち ～地域と大学の共生～』



武雄アジア大学キャンパスイメージ

主催：学校法人旭学園
共催：武雄市

お問合せ

学校法人旭学園 法人本部 新大学設置準備事務局
☎0952-25-6661

学校法人旭学園から

「どのような大学をつくろうとしているか」など『武雄アジア大学』の設置構想について説明されます。また、市からも大学ができることによるまちへの効果等について説明します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時 7 月 17 日（水） 19:00 ～ 20:30

場 所 北方公民館 多目的研修室

申 込 不要 参加費 無料

説明者 内田 信子（学校法人旭学園理事長）
今村 正治（佐賀女子短期大学学長／新大学設置準備委員会委員長）
小松 政（武雄市長）

ひぐちはるざねがんじゅやきとう

「樋口治實含珠焼等」を新たに武雄市重要文化財に指定

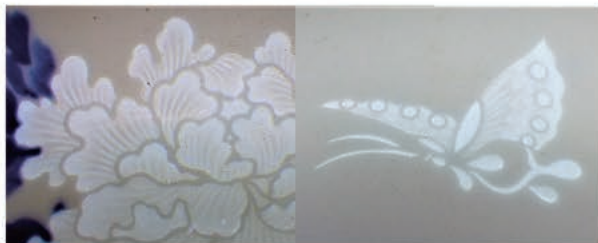
含珠焼の技術を開発・製造した樋口家から平成 27 年に寄贈された資料が指定されました。この資料の重要なポイントは次の 2 点で、武雄のやきものの歴史に欠かせない資料です。

1. 樋口治實 [1851 ～ 1930] に関する資料

現西川登町小田志出身で明治時代、有田以外で佐賀を代表する窯業家の一人となった人物。「含珠焼」という新しい技術を開発。1887 年（明治 20 年）に特許を取得し、海外への輸出や皇室等への献納でブランド力を強化するなど職人の枠にとどまらない活躍をしました。

2. 幻のやきもの「含珠焼」に関する資料

「彫り」と「透かし」の技法を組み合わせで独自の技術まで高めたやきものです。その繊細で複雑な文様は光を受けて独特の輝きをもちます。最高級の製品はいわゆる明治の超絶技巧の工芸品で、国内外で数々の賞を受賞しました。武雄を代表するやきものですが、現存数が極めて少ないことで知られています。



幻の「含珠焼」

展示

ぜひ、この機会にご覧ください。



展示期間 7 月 5 日（金）～ 7 月 21 日（日）

場 所 武雄市図書館・歴史資料館
蘭学企画展示室前

詳しくは 文化課 文化財係 ☎0954-23-9181